

り討り。矢は源を覆われハ士卒戦ふ力を
冒差敵千人斬り又次左衛門の娘と聲と
指殺し宅は火をりけ自害する。と四の巻
初めて沼平へ移り東海林黨小沼平の館日
吉の刃の上を脱敵又足腰五十人。水澤
保ち并総五木の里人を預け一日吉の刃を
奪ひて追懸より東海林黨逐ふ出て急難
を極ふ所小松永九郎左衛門
右門より附は
年三十歳 子勢
二百人として加日東海林二部昌勝
年十七歳 大
長刀を以力戦も部亦は鬼あめめは部を
勝

序りてめ法九郎松といふ大力の者を始とし
て五十余人火を起し。て戦ふ。小松永
九郎左衛門麻目玄庫亦昌勝は討れ是因縁
左衛門の橋を移る他平以下二十六騎昌
勝に討ち。小松永右衛門は矢に死す。金一て死
なれば山形より氏家下野。常則志摩を尚
城に至る。人東海林黨日吉をり。ま。松
永亦を討ち。旦沼平は部をを。此より
沼を。これ。志村九郎左衛門。能前
る。上。三百余騎。新。二。人。お。流。白。石。の。館